

明るい未来へつなごう

～東京大空襲で知った平和の大切さ～



未来を担う子どもたちが平和学習に取り組む。コープぐんまの「ピースクラブ」は、6月23日、東京都江東区の東京大空襲・戦災資料センターを見学した。小学4年生

から中学3年生までの7人が戦争を体験した西尾静子さん(85)にインタビューしたり、戦争の資料を見学したりした。都内の戦争に関する場所を巡る「ピースウォーク」も行い、平和の大切さを実感した。

「友達や親戚などでは西尾さんから聞いたことだ。そこ



私が「東京大空襲・戦災資料センター」を見学して感じたことは「戦争は恐ろしい」ということだ。そこ

「友達や親戚などでは西尾さんから聞いたことだ。そこ



戦争のない世界へ

このようなことが79年前の東京で起きていたという話を私は今まで詳しく知らなかった。東京大空襲のことを知り、戦争の恐ろしさを今更



戦争の恐ろしさ

私は今回、東京大空襲資料センターで、西尾さん



戦争の恐ろしさ

「近くの小学校には入らず、他の防空壕へ行きました。その防空壕には、大人の腰ぐら



戦争の恐ろしさ

「切な人を守りたいので戦争はせ



戦争の恐ろしさ

大切な人がいなくなる恐怖
高崎市立六郷小学校4年 渡辺杏奈
西尾さんは6才
じ10万人の命をう
ばわれた空しゅう
を経験した。3月
9日にお昼にけい
ほうがな、たそ
だ。大事な物を送
るために大さな
「ぼうくうどう
かう出たら月の世
界のようだった」
と西尾さん。東京

駆まごう時間ある
き、1日2本の列
車に乗り八王子へ
その後ぎふのそか
いへ。いとこがい
なくな、たまごう
ふから学校にいけ
なかつた。中学2
年生で東京にもど
り受験。子どもの
命を守る仕事につ
いた。
そんな話を聞いて、
せんそうはこ
わいと感した。

誕生日に目にした物
みなかや町立新治小学校6年 宇野逢斗
ぼくは、西尾さ
んの空襲が終あつ
た後に見た話が心
に残った。
山づみになつた
焼死体、川にうか
ぶ無数の死体、マ
チ棒のようにな番
たのが西尾さんの
誕生日だというこ
とがすくしショッ
りだった。
の出来事が起こつ
たのが西尾さんの
誕生日だというこ
とがすくしショッ
りだった。

その他も西尾さ
んが母親といし
ににげこんだ地下
室で、とびらの外
から、「開けてい
とさけぶ人の声を
聞いたというお話
しがあり、動揺を
隠せなかつた。
こ木からほこん
な悲さんな体験を
する人が世界で一
人もいたくなるよ
う強く願っている。

東京大空襲 死者10万人

空中市立第一中学校3年 掛川 遥斗



1945年3月10日午前0時からアメリカ軍の爆撃機が東京の下町を中心に焼夷弾を投下した。この空襲による死者は10万人を越えたといわ

れている。

それは、アメリ

カ軍が日本向けの

油脂焼夷弾を投下

し木造家屋の密集

地である東京に大

量の焼夷弾を投下

したことで大火災

が起きたからだ

と東京大空襲を防ぎ

たい。

当時6才であ、

た西尾さんの話

によると「死体が多

すぎて大きな穴に

死体をうめた。身

元が分かった人は

遺体の一部を持ち

帰ることができな

た。お、し、てい

た。

僕は、戦争の悲

惨さと恐ろしさを

学び二度と起し

てはいけないう強

く感じた。

が失われてしま

たそうです。

そんな事実を知

り、過去に本当に

あったのかと、驚

きました。これ以

上苦しむ人は見た

くないので、戦争

は起きてほしくな

いと思えました。

だから、もっと皆

が戦争について興

味を持ち、もっと

知ろう、伝えよう「東京大空襲」

みなみ町立みなみ中学校3年 高橋美空



今から79年前に

起きた「東京大空

襲」を知っていま

すか。私たち、ピ

スクラムメンバ

は、実際に経験さ

れた西尾さんの話

を聞いてきました。

焼夷弾の恐怖

太田市立休泊中学校一年 三田 果凛



私は、焼夷弾が東京大空襲で多くの命を奪った大きな原因だとい

私に、西尾さん

の「交番に逃げこ

んだ人々がまるで

マッチ箱に入った

棒のように七くな

っていた」という

言葉が心に残って

いる。そんな光景

を考えただけで、

ゾッとした。

その後資料を見

て、国民には火を

消す義務があり、

そのせいで七くな

ってしま、た人が

いることを知った。

逃げれば助かった

かもしれないのに

と胸が苦しくな

た。

西尾さんは「今

の世界はとても幸

せ」と語っていて

これからは日常に

ある小さな幸せも

大切にしていこう

と思う。

みんなで取材したよ

